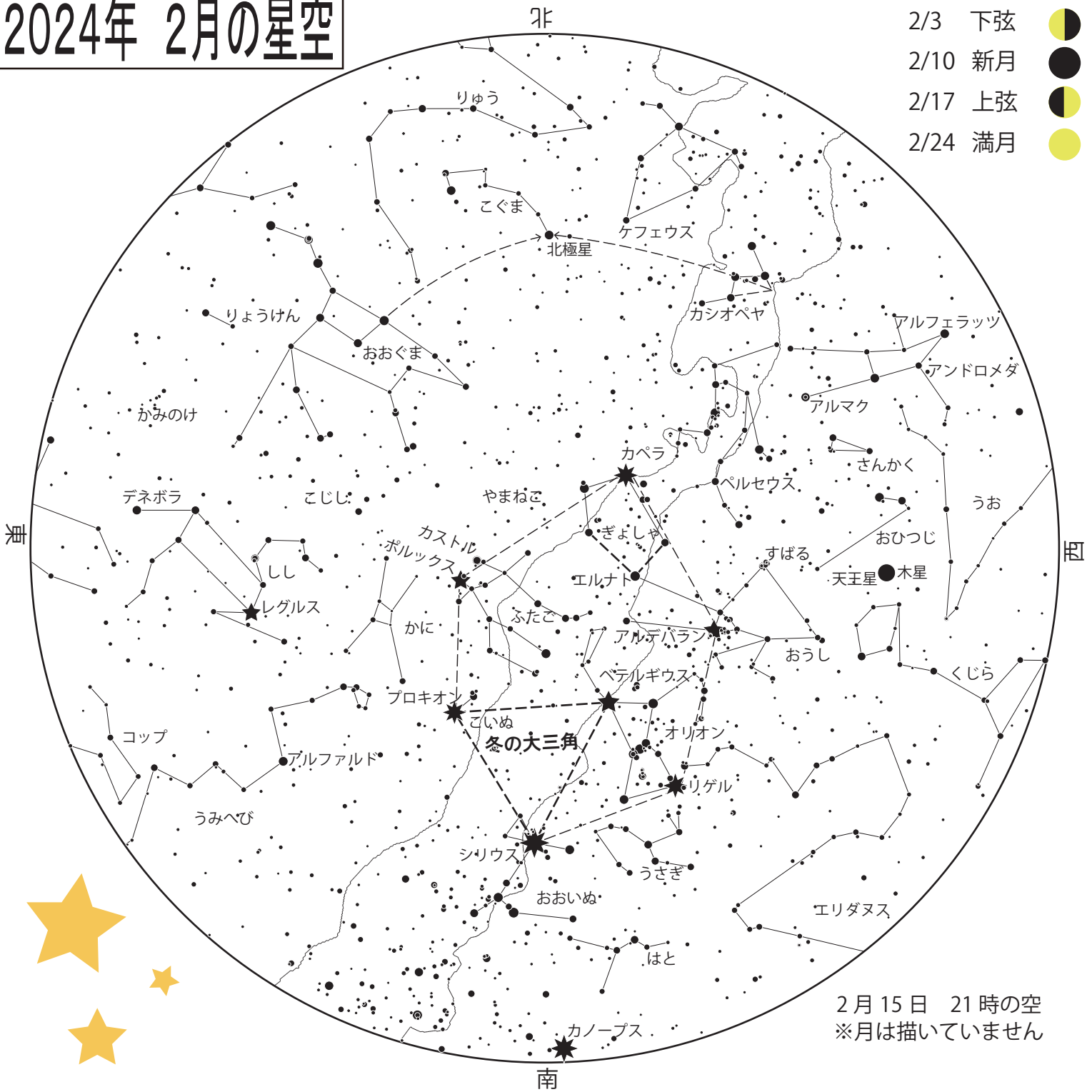


# 姫路で見る 2024年 2月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 2/3 下弦 
- 2/10 新月 
- 2/17 上弦 
- 2/24 満月 



2月15日 21時の空  
※月は描いていません

南の空に冬の星々が見えています。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンをつないでできるのが「冬のダイアモンド」。さらに、シリウスとプロキオン、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、そしてオリオン座のリゲルをつなげば、夜空に大きな「冬のダイヤモンド」の出来上がりです。冬の空を飾る7つの一等星はそれぞれ色や明るさに個性があり、にぎやかな星空を楽しめます。ほかにも、おうし座の肩にある星の集団「すばる」や、オリオンの三ツ星ベルトの下、小三ツ星の真ん中にあるぼんやりとした天体「オリオン大星雲」といった、肉眼でも探せる星雲・星団も見どころです。

南の空開けている場所であれば、見ると寿命が延びるともいわれるりゅうこつ座のカノープスが見えるかもしれません。東の空には一等星レグルスをもつしし座や、しっぽの北斗七星が目印のおおぐま座など、春の星座もやってきています。

夕方ごろから一番星としても見つけやすい木星は西の空、春先まで見頃となります。